

平成 27 年 10 月 30 日
沖縄電力株式会社

多良間可倒式風力発電設備の営業運転開始について

当社は、低炭素社会実現に向けた二酸化炭素排出量抑制策および離島発電所の燃料コスト低減策として、多良間島において可倒式風力発電設備の建設に取り組んでおりましたが、本日、営業運転を開始しましたのでお知らせいたします。

可倒式風力発電設備の導入は、波照間島、南大東島、粟国島に次いで 4 地点目となります。（下表参照）

当該設備は台風などの強風を避けることができる設計となっており、強風対策としての強度レベルの向上、復旧費用増大および島嶼地域ゆえの復旧期間長期化などの課題を解決することが期待されております。

なお、当該設備は環境省の補助事業である平成 26 年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金（離島の低炭素地域づくり推進事業）を活用して建設しております。

○当社の可倒式風力発電設備導入状況

	号機	設備容量 (kW)	運転開始日
多良間	1	245	平成 27 年 10 月 30 日
粟国	1	245	平成 26 年 6 月 30 日
南大東	1	245	平成 23 年 2 月 28 日
	2	245	
波照間	1	245	平成 21 年 12 月 18 日
	2	245	

〔可倒式風力の特徴〕

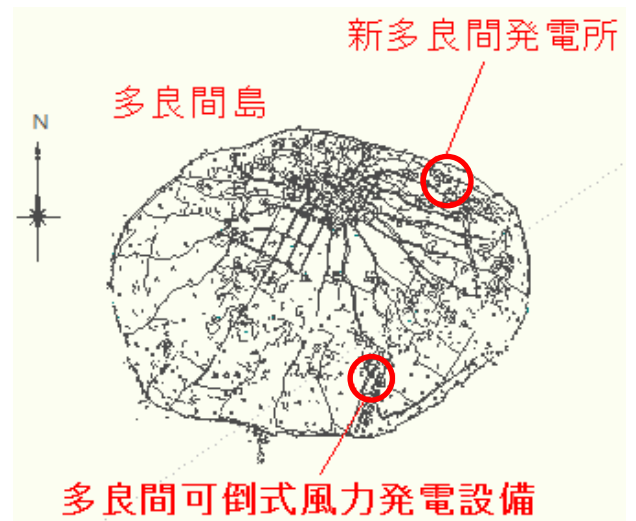
- ・風車タワーを 90 度近く傾倒させることができるため、台風等の強風被害を回避可能。また、メンテナンスにおいてもグラウンドレベルでの実施が可能。
- ・建設時に大型クレーンが不要であり、比較的丘陵地にも建設が可能。

添付資料：多良間島と可倒式風力発電設備の概要

以上

<多良間島の概要>

1. 概要：宮古島の南西約 54km に位置する。台風の常襲地域でもある。
2. 面積：19.73km²
3. 人口：1206 人(平成 27 年 9 月現在)
4. 世帯数：527 世帯(平成 27 年 9 月現在)
5. 最大電力：1036kW (平成 26 年度)
6. 発電設備：200kW×1 基
(ディーゼル) 230kW×1 基
430kW×1 基
500kW×2 基



<可倒式風力発電設備の概要>

1. メーカー：ナセル・ブレード/Vergnet SA (仏)
タワー他/株プログレッシブエナジー
2. 定格出力：245kW
3. 設置台数：1 基
4. 定格・起動・停止風速：13.5m/s・4m/s・22m/s
5. ブレード枚数/直径：2 枚/30m
6. ハブ高さ：38m



【写真 1：風車全景】



【写真 2：風車傾倒時】